

平成 27 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス						
教科目名	総合ドイツ語 2	担当教員	高原清志			
学年学科	専攻科第 1 学年 全専攻	後期	選択	1 単位(学修)		
学習・教育目標	(A-1) 30%	(C-2) 70%	JABEE 基準 1 (1) (a) (f)			
授業の目標と期待される効果： 4, 5 年次に習得したドイツ語の基礎的な知識を基にして、読解力と作文力を育成することにより、言語の運用能力、コミュニケーション能力の増大を図る。また EU の中で最大の人口を占めるドイツ語圏の文化、歴史、習慣、風土、経済について見識を深め、多言語多文化理解の一助とする。 ① 単語や文章を正しく発音ができる。 ② すでに学習した基本的な文法を発展的に理解する。 ③ 中級レベルのテキストが読める読解力を身につける。会話や Eメールによる基礎的なコミュニケーションをできるようにする。ドイツ語圏の文化・生活への理解や洞察力を深めるとともに日独、日欧を比較できる。		成績評価の方法： 毎回の授業での口頭演習および課題、期末試験の結果を総合的に評価する。 期末試験 100 点+課題 20 点 合計し得点率 (%) で成績をつける なお、成績評価に教室外学修の内容は含まれる。 達成度評価の基準： 以下の各項目の総合 6 割以上の正答率 ① 単語の発音ができる。 ② 文法全般を十分に理解している。 ③ 文の構成を理解しつつ、テキストレベルの読解ができる。 ④ 既習の単語を使って作文や会話ができる。 ⑤ ドイツ語圏の文化や生活を十分に理解するとともに、日独、日欧の文化比較ができる。				
授業の進め方とアドバイス： 中級の表現練習読本「新ドイツ語話しかた教室」を使用し、演習形式の授業を行う。今までに学んだドイツ語の基礎学力を土台にしてコミュニケーションを重視した授業展開を行う。						
教科書および参考書： 大谷弘道・大谷ウルズラ著 表現練習読本「新ドイツ語話しかた教室」(三修社)						
授業の概要と予定：前期			教室外学修		AL のレベル	
第 1 回：Einkaufen (1)			Einkaufen (1) の復習			
第 2 回：Einkaufen (2)			Einkaufen (2) の復習			
第 3 回：Einkaufen (3)			Einkaufen (3) の復習			
第 4 回：Wohnungssuche (1)			Wohnungssuche (1) の復習			
第 5 回：Wohnungssuche (2)			Wohnungssuche (2) の復習			
第 6 回：Wohnungssuche (3)			Wohnungssuche (3) の復習			
第 7 回：Ausflug (1)			Ausflug (1) の復習		c	
第 8 回：Ausflug (2)			Ausflug (2) の復習		b	
第 9 回：Ausflug (3)			Ausflug (3) の復習			
第 10 回：Eine Einladung (1)			Eine Einladung (1) の復習			
第 11 回：Eine Einladung (2)			Eine Einladung (2) の復習			
第 12 回：Eine Einladung (3)			Eine Einladung (3) の復習			
第 13 回：Beim Arzt (1)			Beim Arzt (1) の復習			
第 14 回：Beim Arzt (2)			Beim Arzt (2) の復習			
第 15 回：Beim Arzt (3)			Beim Arzt (3) の復習			
期末試験						
第 16 回：フォローアップ (期末試験の解答の解説など)						

評価 (ルーブリック)

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
①	単語の発音に関する問題をほぼ正確(8割以上)に解くことができる。	単語の発音に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	単語の発音ができない。
②	文法全般に関する問題をほぼ正確(8割以上)に解くことができる	文法全般に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる	文法全般を十分に理解していない。
③	文の構成を理解しつつ、テキストレベルの読解問題をほぼ正確に(8割以上)に解くことができる。	文の構成を理解しつつ、テキストレベルの読解問題をほぼ正確に(6割以上)に解くことができる。	文の構成を理解しつつ、テキストレベルの読解ができない。
④	既習の単語を使っての作文や会話問題をほぼ正確(8割以上)に解くことができる。	既習の単語を使っての作文や会話問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	既習の単語を使って作文や会話ができない。
⑤	ドイツ語圏の文化や生活を十分に理解し、日独、日欧の文化比較に関する問題をほぼ正確(8割以上)に解くことができる。	ドイツ語圏の文化や生活を十分に理解し、日独、日欧の文化比較に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	ドイツ語圏の文化や生活を十分に理解するとともに、日独、日欧の文化比較ができない。